

# 輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）

※申請者名：有限会社 深見梅店、品目：有機梅加工品

## 1. 輸出における現状と課題

### ○現状

・和歌山県は梅の生産量が全国第1位であり、全国シェアの約6割を占めている。梅は、梅干しや梅酒等に加工されるのが一般的であるが、近年、有機＝オーガニックに対する海外ニーズが高まっており、当社にて栽培、加工、製造する有機梅干し、有機梅加工品の輸出量、輸出額ともに増加している。

### ○課題

・生産面では、欧州や米国において、有機梅加工品のニーズは高まっているにもかかわらず、梅の主産地である和歌山県においても有機栽培に特化した梅は県内収穫量のわずか1%未満となっており、海外ニーズに対応するためには圃場の拡大や契約栽培農家の育成等、生産力の強化を図る必要がある。

・加工面では、海外市場に対応した品質管理を実施するため、有機梅加工施設におけるトレーサビリティ体制の整備や国際規格の衛生管理認証の取得に取り組む必要がある。

## 2. 輸出事業計画の取組内容

### ○生産面

・契約栽培農家と連携し、契約栽培農家の有機JAS認証の取得や栽培情報の共有等、有機梅生産者の育成及び圃場の拡大等、輸出拡大に向けた有機梅の産地育成を推進。

■現状（令和2年度）：自社圃場2圃場（145a）、契約圃場37圃場（828a、約20名）

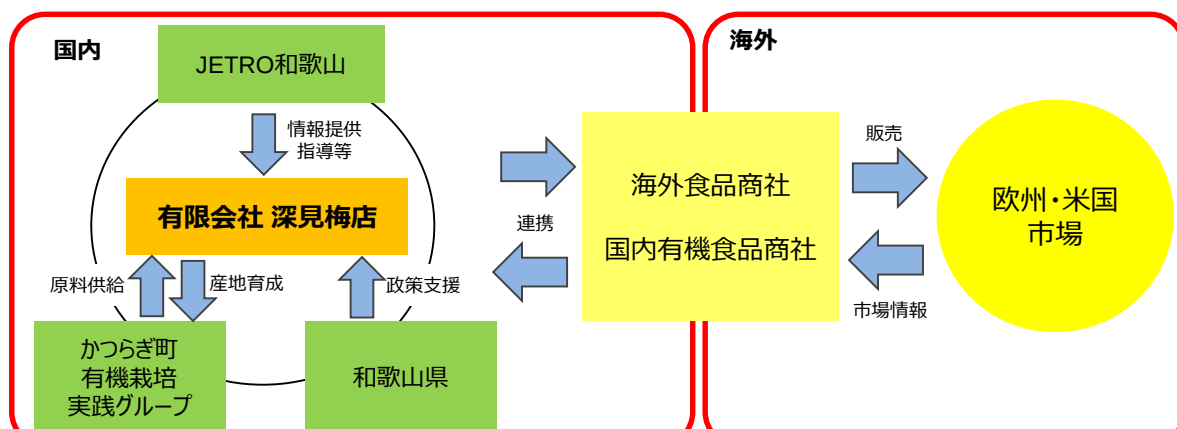
■目標（令和8年度）：自社圃場4圃場（290a）、契約圃場40圃場（1,000a、40名以上）

### ○加工面

・加工施設の改修及び整備を実施することで、国際規格の衛生管理認証（FSSC22000）の取得や、取引先である海外食品商社、国内有機食品商社と連携した輸出先国ニーズに対応した商品開発と製造を実施する。

・加工前の果実の段階から安全分析を実施し、加工後の商品に対しても国際基準での分析を行うことで安全性を視認できる形で立証。【残留農薬検査・放射性物質検査・重金属検査・欧州義務表示栄養成分検査】

## 3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



## 4. 輸出目標額

○令和2年度実績：輸出額15,000千円、輸出量8,000kg

○令和8年度目標：輸出額35,000千円、輸出量18,000kg

○輸出先国：欧州、米国